

GLORY writes a new STORY



グローリー株式会社
2026年3月期 第1四半期 決算説明資料

【説明者】

- ・代表取締役社長 原田 明浩
- ・経営戦略本部長 田中 千也

2026年3月期 第1四半期

1 決算ダイジェスト
代表取締役社長 原田 明浩

2 連結業績
執行役員 経営戦略本部長 田中 千也

2026年3月期 中間期・通期

3 連結業績予想
執行役員 経営戦略本部長 田中 千也

2026年3月期 第1四半期

1

決算ダイジェスト

代表取締役社長 原田 明浩

「第1四半期の決算ダイジェスト、及びトピックス」

説明者：代表取締役社長 原田 明浩

「トピックス」

- ・海外市場の利益回復
- ・株主還元策の進捗
- ・米国の通商政策に関する影響

決算ダイジェスト

GLORY

2026年3月期 第1四半期 連結業績＜結果＞

【売上高】 **723** 億円 【営業利益】 **20** 億円（のれん償却前利益 **41** 億円）

前年同期比 -204 億円（-22.0%） 前年同期比 -88 億円（-81.5%）

- 海外市場での販売は前期並み（前年同期比+2億円）、営業利益は回復傾向（前年同期比+20億円）
- 国内市場は、前期に発生した改造作業などの新紙幣発行対応、（特別需要）の反動により減収減益も 想定内
売上高は新紙幣発行対応前である2023年3月期を上回る

2026年3月期 通期 連結業績 ＜予想＞

◆ 日本基準

【売上高】 **3,400** 億円 【営業利益】 **215** 億円（のれん償却前利益 **300** 億円）

前期比 -290 億円（-7.9%） 前期比 -136 億円（-38.7%）

◆ IFRS会計基準

【売上収益】 **3,400** 億円 【営業利益】 **285** 億円

2026年3月期期末決算より国際財務報告基準（IFRS会計基準）を適用予定

- 国内金融は設備投資意欲が旺盛で下期以降に期待、リテールは国内外においてセルフ化ニーズの継続を見込む
- 海外は米国の通商政策による影響が一部で発生するものの、通期予想への影響は軽微

ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

4

「2026年3月期 第1四半期累計期間 決算ダイジェスト」

（2026年3月期 第1四半期実績）

- ・売上高 **723 億円**（前期比-204 億円）
- ・営業利益 **20 億円**（前期比 -88 億円）

海外市場では前年同期並みの販売となったが、営業利益は前年同期比20億円増加
国内市場では新紙幣発行に伴う製品更新や改造作業が終息、また、金融市場では大口案件の反動により減益

（2026年3月期 通期業績予想）

日本会計基準

- ・売上高 **3,400 億円**（前期比 -290 億円）
- ・営業利益 **215 億円**（前期比 -136 億円）

IFRS会計基準

- ・売上高 **3,400 億円**
- ・営業利益 **285 億円**

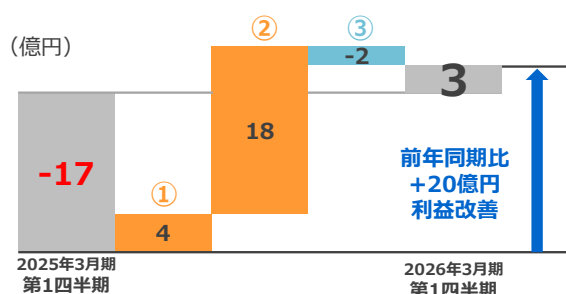
今期の業績予想は期初計画通りの着地を見込む

海外市場は注力3市場の更なる成長を見込んでおり、国内市場では小売・飲食店舗での業務効率化を目的としたセルフ型製品・サービスへの堅調な需要の継続を見込む

海外市場の利益回復について

GLORY

◆ 海外市場 営業利益（第1四半期）



①人件費の減少

・米国のシステム統合対応で増加していた人件費が改善

②保守外部委託費の減少

・旧レボリューション社製品の当社製品への置き換えにより保守作業が効率化（当社製品への置き換え 約5,300台）
・第三者保守の内製化

③その他要因

・円高による為替影響、その他費目の変動

為替影響（前年同期比）

売上高	△30.6億円
営業利益	△3.6億円
為替差損（1Q実績）	△7.3億円

◆ 海外市場 営業利益（年間予想値） --- 上期は遅延気味ながら、年間ではほぼ計画通りの見込み

(億円)	<日本会計基準>				年間	年間
	Q1 (実績)	Q2	上期	下期		
2025年3月期	-17	18	1	83	84	のれん償却前 169
2026年3月期	3	17	20	130	150	IFRS 230
前年比改善	+20	-1	+19	+47	+66	+61

ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

5

「海外市場の利益回復について」

昨年度から問題になっていた海外市場の利益回復状況を説明

（画面上側：第1四半期の営業利益比較）

当期実績がプラス3億円で前年同期比で20億円の改善

プラス要因は人件費の減少、保守外部委託費の内製化、保守効率のアップ

マイナス要因は円高等。期初はプラス10億円程度を予想したが、少し低めで進捗

（下側：通期予想）

前期、今期の第1四半期、第2四半期、上期、下期、年間で比較

今期の第2四半期はほぼ前年同期並みで上期は約20億円の営業利益を予想

（前年同期比 + 19億円）

一方、下期は売上増収増益を予想。前期の83億円に対して、今期は130億円を予想

（前年同期比 + 47億円）

年間では150億円（前期比プラス66億円）を予想

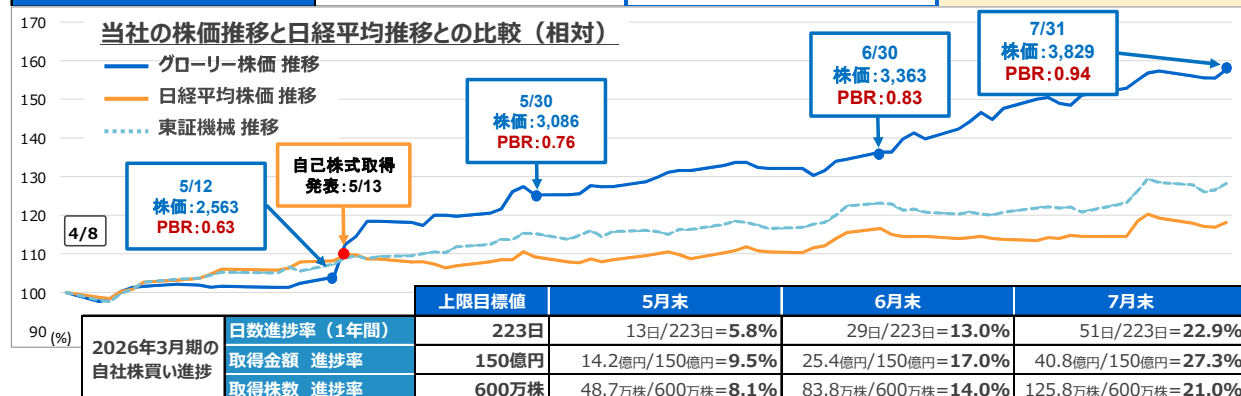
IFRSでも、前期ののれん償却前と比べて約61億円の増益を予想

株主還元策の進捗（株価推移・自社株買・PBR）

当社試算に基づく参考値

GLORY

2026中期経営計画 期間中 →		2025年3月期（実績）	2026年3月期（予想）	2027年3月期（中計目標）
純利益額（予想値）		160億円	（ 170億円 ）	（ 250億円 ）
発行済株式数（予想値）		58,938,210	（58,938,210）	（53,000,000）*約10%消却
株主還元方針	DOE	3%以上	3%以上	3%以上
	累進配当	累進	累進	累進
	総還元性向	—	100%以上	100%以上
①	配当総額（予想値）	61億円 [1株当たり 108円]	（約60億円）（1株当たり 112円）	?
②	自己株式取得	—	上限 150億円	
①+②	総還元金額（予想値）	61億円	（ 210億円 ）	
総還元性向（予想値）		38% [=61/160]	（ 123% ）（=210/170）	（ ? ）（= ? /250）



ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

6

「株主還元策の進捗」

株主還元の進捗状況を説明

（画面上部の表）

前期：株主還元方針としてDOE 3%以上、及び累進配当のもと、1株当たり108円を配当し、総還元性向は38%（親会社株主に帰属する当期純利益は160億円）

今期：利益配分に関する基本方針として、DOEと累進配当に加え総還元性向100%以上を掲げる

自己株式取得は上限150億円を予定

配当は1株当たり112円を予定（配当総額は約60億円）

総還元額は210億円、総還元性向は123%を見込む

来期：親会社株主に帰属する当期純利益予想は250億円（2026中計目標）

利益配分に関する基本方針は引き続き総還元性向100%以上を掲げる

純利益予想250億円に対して、こういった形で株主還元するか経営で検討

（画面下部のグラフと表）

自己株式取得の進捗状況。取得価額150億円に対して、7月末の段階で約40億円を取得（進捗率27.3%）

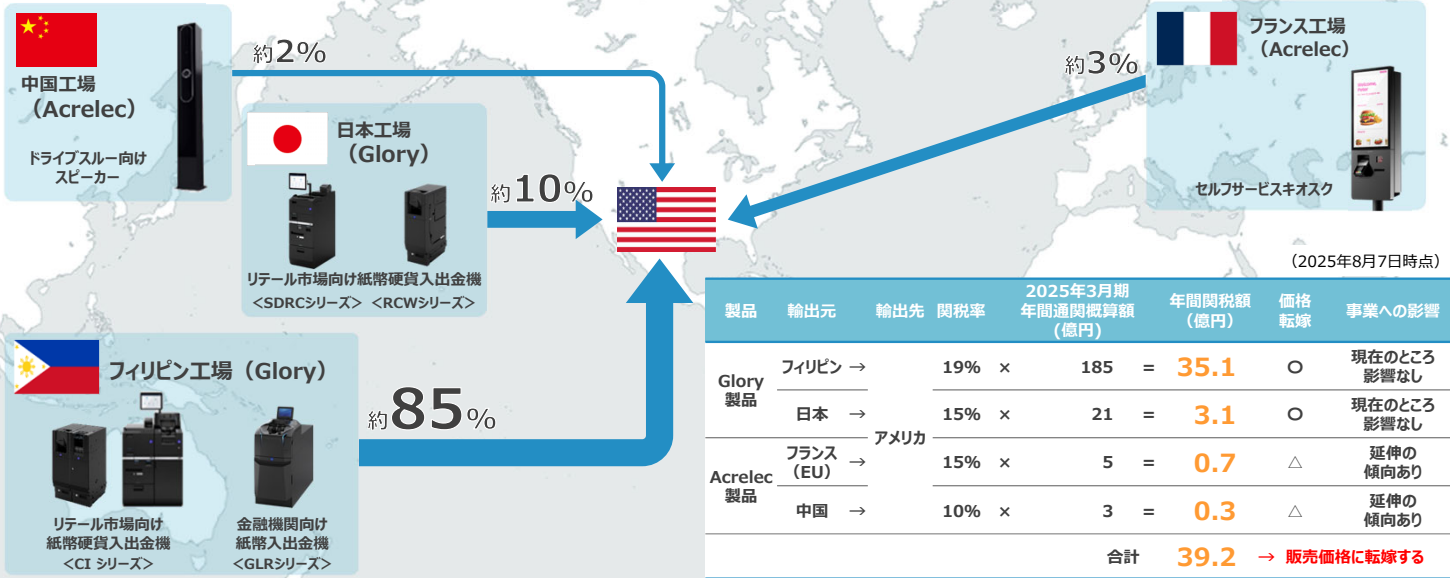
株価は7月31日時点で3,829円、PBRで0.94程度。最大150億円まで自己株式取得を続けると、3月ぐらいに自己株式取得が完了し、株価は4,000円は超えると推察

アメリカへの製品輸出状況

GLORY

アメリカへの主な輸出製品と輸出額に占める割合

通貨処理機のアメリカへの輸出は、フィリピンからの出荷が大半



ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

7

「米国への製品輸出状況」

前期実績を元にそれぞれの国からの輸出額と関税率を掛けて、関税の影響額を算出

左上から、中国からアレックのドライブスルー向けスピーカー等が約2%を出荷。

日本の工場からはリテール向けの製品を約10%、フィリピンの工場から全体の85%をアメリカに出荷。

その他、フランスではアレック製キオスクの出荷が約3%。

それぞれの国と関税率、通関額をまとめたものが下の表。関税率を掛けるとトータルで39.2億円の影響を受けることを想定。

当社グループの基本姿勢

「関税措置によるコスト増加分を販売価格に反映すること」を基本的なスタンスとしています。
ただし、この価格転嫁が製品サービスの需要予測に与える影響については、現時点では把握できておりません。

業績予想

通商政策による影響は、**現在のところ軽微であります。**
今後、開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

8

「米国の通商政策に関する影響」

当社グループの基本姿勢は、コスト増加分については基本的には販売価格に反映して、お客様にご負担いただく。価格転嫁がどれくらい需要に影響を与えるか現時点ではまだ把握できていない状況

通商政策による業績影響は、今のところ軽微。

飲食市場で事業を展開するアクレック社は、関税影響による建設費用等の高騰の影響を受けファストフードチェーンの新規出店スピードが落ち販売遅延が発生。

2026年3月期 第1四半期

2

決算概要

執行役員 経営戦略本部長 田中 千也

「2026年3月期 第1四半期決算概要」

説明者：経営戦略本部長 田中 千也

連結業績概要

<日本会計基準>

GLORY

売上高 海外の販売は前年同期並みで推移したが、国内の販売は新紙幣関連需要の反動等により減収

利益 国内において利益率の高い主要製品や新紙幣対応に伴う改造売上高の減少により、営業利益、経常利益、純利益とも減少

億円	第1四半期				前年同期比	期初計画進捗率	
	2025年3月期	売上高 比率	2026年3月期	売上高 比率		対 上半期	対 年間
売上高	927	100.0%	723	100.0%	-204 -22.0%	46.3%	21.3%
保守売上高	353	38.1%	299	41.4%	-54 -15.3%	48.6%	24.1%
営業利益	108	11.7%	20	2.8%	-88 -81.5%	34.5%	9.3%
経常利益	96	10.4%	12	1.7%	-84 -87.5%	25.0%	6.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	60	6.5%	3	0.4%	-57 -95.0%	18.8%	3.0%
EBITDA ※	170	18.3%	79	10.9%	-91 -53.5%	44.9%	17.4%
為替 レート	ドル	156 円	145 円				
	ユーロ	168 円	164 円				

※EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費

ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

10

「2026年3月期 第1四半期業績概要」

2026年3月期 第1四半期の業績は、減収減益

- ・売上高は、723億円（前年同期比－204億円）
- ・営業利益は、20億円（前年同期比－88億円）
- ・経常利益は、12億円（前年同期比－83億円）
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益は、3億円（前年同期比－57億円）

（売上高）

海外は前期並みで着地。国内では7月に新紙幣の発行があった前年同期と比べて減収

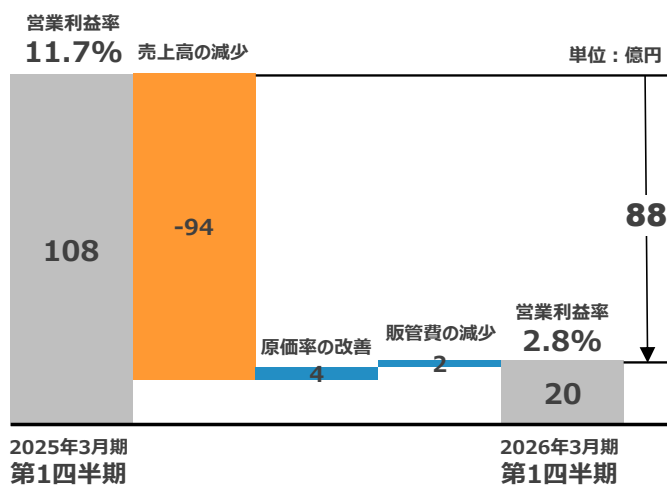
（営業利益）

海外市場ではコスト改善が進むが、国内市場では新紙幣発行に伴う需要の反動を受け減益
また、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益についても減益

営業利益 増減要因

<日本会計基準>

GLORY



売上高減少の影響

- ・新紙幣発行に伴う製品更新や改造作業が終息し、国内事業の売上高が減少

原価率改善の効果

- ・米国での保守原価が改善

販管費減少の効果

- ・海外関係会社のコスト低減

ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

11

「営業利益の増減要因」

(減益要因)

・売上高の減少の影響 **94億円**

(増益要因)

・原価率改善の効果 **4億円**

・販管費の減少 **2億円**

・営業利益 **20億円** (前年同期比 -88億円)

セグメント別売上高・営業利益

<日本会計基準>

GLORY

億円	売上高					営業利益				
	第1四半期		前年同期比	期初予想進捗率		第1四半期		前年同期比	期初予想進捗率	
	2025年3月期	2026年3月期		対上半期	対年間	2025年3月期	2026年3月期		対上半期	対年間
海外市場	457	459	+2 +0.4 %	46%	21%	-17	3	+20 - %	8%	2%
金融市場	127	66	-61 -48.0 %	39%	18%	29	2	-27 -93.1 %	40%	13%
流通・交通市場	239	128	-111 -46.4 %	47%	21%	66	2	-64 -97.0 %	-	20%
遊技市場	85	52	-33 -38.8 %	58%	27%	31	14	-17 -54.8 %	82%	40%
その他	16	15	-1 -6.3 %	50%	21%	-1	-1	0 - %	-	-
合 計	927	723	-204 -22.0 %	46%	21%	108	20	-88 -81.5 %	34%	9%

海 外

欧米のリテール市場での販売が順調に推移し、売上高は前年同期並み。米州での利益改善も進む

国 内

新紙幣関連需要の終息等により、減収減益

のれん償却

のれん償却額21億円 → 【のれん償却前営業利益】 海外市場：23億円 連結合計：41億円

ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

12

「セグメント別の売上高・営業利益」

(海外市場)

金融市場及びリテール市場ともに、人件費高騰や人手不足対応に伴うセルフ化ニーズが継続しており、製品・サービスの需要は堅調

営業利益は、前期の米州における人件費や外部委託手数料などの一時的なコスト増加に対する改善が進み増益

(国内市場)

金融市場においては、前期の大口需要の反動等により売上高、営業利益ともに減少

流通・交通市場、遊技市場では、新紙幣発行に伴う製品の更新や改造作業が終息したことにより、売上高、営業利益ともに減少

海外市場

<日本会計基準>

GLORY

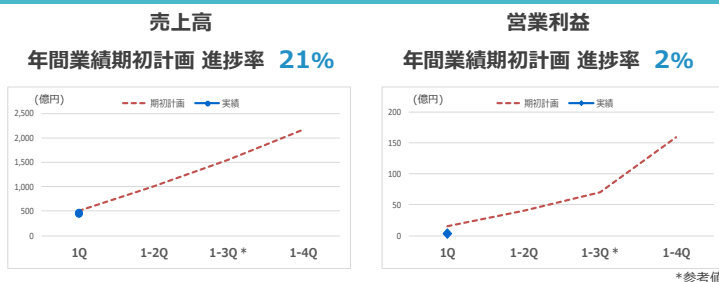
億円	第1四半期		前年同期比
	2025年3月期	2026年3月期	
売上高	457	459	+2 +0.4 %
売上高 構成比率	49%	63%	+14 pt
営業利益	-17	3	+20 - %
営業利益率	- %	0.7 %	- pt

製品以外	製品	営業利益
225	273	18
232	237	43
242	321	40
228	338	3
215	244	
1Q	2Q	3Q
2025年3月期	2026年3月期	

業績のポイント

売上高	実績	米州での実績が好調に推移
	要因	金融機関向け紙幣入出金機<GLRシリーズ>が好調
	対策	引き続き、大口商談を中心に販売拡大を目指す
営業利益	実績	前年同期比で増益
	要因	米国でのコスト改善が大きく寄与
	対策	引き続き、注力市場にて販売拡大を図る

計画に対する進捗



ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

13

「海外市場」

- ・売上高 459億円（前年同期比 +2億円）
- ・営業利益 3億円（前年同期比+20億円）

（売上高）

リテール市場のバックオフィス向け「CI シリーズ」の販売は、セルフ化ニーズが継続し好調であり、GLRを中心とする金融市場向け「TCR」についても、更新需要の獲得により順調

一方、保守売上高は、金融機関向け保守が前年並みとなったものの、リテール市場向けが低調

（営業利益）

米州リテール事業において利益改善が進む

地域別売上高 全体

<日本会計基準>

GLORY

億円	第1四半期		前年同期比			期初計画進捗率	
	2025年3月期	2026年3月期			米ドルベース	対 上半期	対 年間
米州	199	208	+9	+4.5%	+12.9%	44%	20%
内 GGS	175	185	+10	+5.7%	+14.1%	46%	20%
内 Acrelec	13	10	-3	-23.1%	-12.2%	29%	14%
内 Flooid	11	13	+2	+18.2%	+23.0%	37%	17%
欧州	217	214	-3	-1.4%	+6.2%	48%	23%
内 GGS	110	102	-8	-7.3%	-1.5%	47%	22%
内 Sitrade	42	47	+5	+11.9%	+21.4%	52%	28%
内 Acrelec	54	54	0	0.0%	+9.2%	45%	22%
内 Flooid	11	11	0	0.0%	+8.9%	44%	20%
アジア	40	36	-4	-10.0%	-2.9%	45%	21%
内 GGS	34	31	-3	-8.8%	-1.1%	52%	24%
内 Acrelec	6	5	-1	-16.7%	-11.8%	25%	13%
合計	457	459	+2	+0.4%	+8.3%	46%	21%
内 GGS	319	317	-2	-0.6%	+7.1%	47%	21%
内 Sitrade	42	47	+5	+11.9%	+21.4%	52%	28%
内 Acrelec	73	70	-3	-4.1%	+3.5%	40%	19%
内 Flooid	23	25	+2	+8.7%	+16.1%	42%	19%

ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

14

「海外地域別、会社別売上高」

売上高は、米州では、前年同期を上回ったが、アジアは、中国において事業活動を縮小したこともあり前年同期よりも減少し、全体では前年同期並み

米ドルベースで見た場合においては、アジア以外の地域で前年同期を上回る

次のページ以降で地域別の詳細を説明

地域別売上高 米州

<日本会計基準>

GLORY

億円	第1四半期		前年同期比	米ドルベース	期初計画進捗率	
	2025年3月期	2026年3月期			対上半期	対年間
米州	199	208	+9 +4.5 %	+12.9%	44%	20%
内 GGS	175	185	+10 +5.7 %	+14.1%	46%	20%
内 Acrelec	13	10	-3 -23.1 %	-12.2%	29%	14%
内 Flooid	11	13	+2 +18.2 %	+23.0%	37%	17%

市場動向・TOPICS

金融機関向け紙幣入出金機<GLRシリーズ>が好調

旧Revolution社の統合作業が進み、人件費・保守委託費などのコスト削減が順調に進捗



製品 リテール市場向け<CIシリーズ>の販売が好調

製品以外 金融機関向け保守が前年並みとなるが、リテール市場向け保守は低調

飲食 通商政策影響により、大手QSRの新規出店が延伸し、前年同期を下回る

金融 TCRの販売が好調。保守売上高も前年を上回る

リテール 大口受注により、バックオフィス向け紙幣入出金機<CIシリーズ>が好調

ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

15

「海外 地域別売上高：米州」

(トピックス)

旧Revolution顧客の大手リテーラーにおいて、Revolution製品から当社製品への置き換えが順調に進む

(製品/製品以外売上高)

リテール市場のバックオフィス向け「CIシリーズ」や、金融市場向け「GLRシリーズ」の販売が順調
保守売上高は、金融機関向け保守が前年並みとなったものの、リテール市場・飲食市場向け保守が低調

(市場別売上高)

リテール市場ではバックオフィス向け製品の販売は好調であり、金融市場も前期並み
飲食市場では、関税影響により、大手ファストフードチェーンへの販売が延伸し、アクレレック社の販売が低調

地域別売上高 欧州

<日本会計基準>

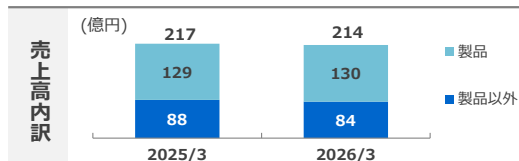
GLORY

億円	第1四半期		前年同期比	米ドルベース	期初計画進捗率	
	2025年3月期	2026年3月期			対上半期	対年間
欧州	217	214	-3 -1.4 %	+6.2%	48%	23%
内 GGS	110	102	-8 -7.3 %	-1.5%	47%	22%
内 Sitrade	42	47	+5 +11.9 %	+21.4%	52%	28%
内 Acrelec	54	54	0 0.0 %	+9.2%	45%	22%
内 Flooid	11	11	0 0.0 %	+8.9%	44%	20%

市場動向・TOPICS

イタリアで金融機関向け大口案件の納入がスタート

イギリスでリテール向け製品の販売が好調

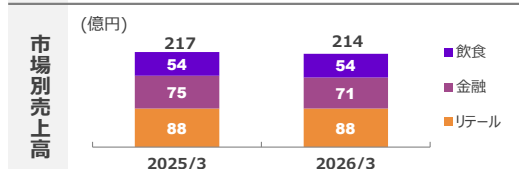


製品

イタリアで金融市場向けTCRが好調も、その他製品が伸びず、前年同期並み

製品以外

現地通貨で前年同期並みとなるも、為替影響により円で前年を下回る



飲食

現地通貨で前年同期を上回るも、為替影響により円で前年同期並み

金融

イタリアでの大口納入が進むも、その他の国で伸びず、前年を下回る

リテール

バックオフィス向け紙幣硬貨入出金機が低調

ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

16

「海外 地域別売上高：欧州」

(製品/製品以外売上高、市場別売上高)

全ての市場において、販売が順調に推移

製品以外の販売は、為替の影響等により、日本円ベースで前年同期を下回る

地域別売上高 アジア

<日本会計基準>

GLORY

億円	第1四半期		前年同期比	米ドルベース	期初計画進捗率	
	2025年3月期	2026年3月期			対上半期	対年間
アジア	40	36	-4 -10.0 %	-2.9%	45%	21%
内 GGS	34	31	-3 -8.8 %	-1.1%	52%	24%
内 Acrelec	6	5	-1 -16.7 %	-11.8%	25%	13%

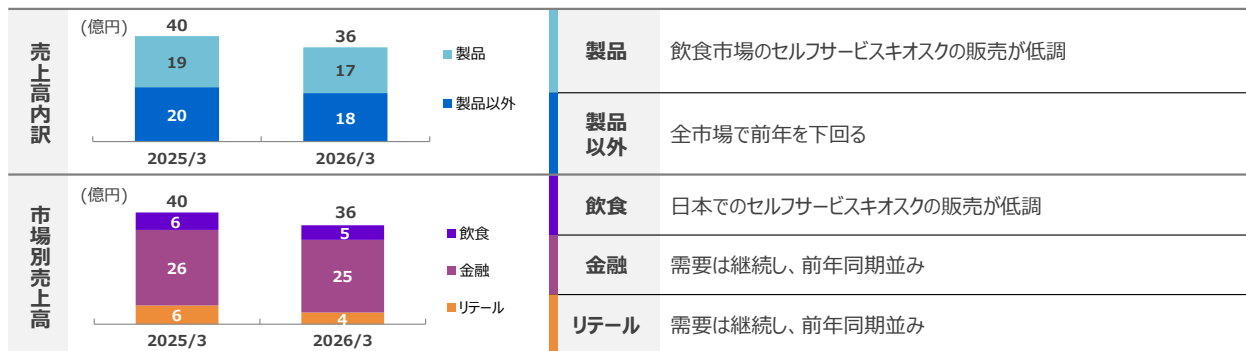
※ Acrelec社の日本国内での売上を含む

市場動向・TOPICS

リテール市場向け<CIシリーズ>の納入が伸びず、前年同期比を下回る

日本向けセルフサービスキオスクの納入も低調

中国において事業活動を縮小



ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

17

「海外 地域別売上高：アジア」

(製品/製品以外売上高)

製品、製品以外ともに売上高が減少

(市場別売上高)

飲食市場でアクレック社のキオスクの販売が減少したほか、金融市場では紙幣整理機、リテール市場向けでは「CIシリーズ」の販売が低調

アクレック社およびフルイド社の実績

<日本会計基準>

GLORY



億円	第1四半期累計期間		前年同期比	期初計画進捗率	
	2025年3月期	2026年3月期		対 上半期	対 年間
売上高	73	70	-3	40%	19%
米州	13	10	-3	29%	14%
欧州	54	54	0	45%	22%
アジア	6	5	-1	25%	13%
営業利益	0	-2	-2		
のれん償却後	-1	-4	-3		

米州

関税影響による顧客の投資控えが影響し、前年同期を下回る

欧州

主要国フランスで好調に推移

アジア

日本での販売低調が影響し、前年同期を下回る



億円	第1四半期累計期間		前年同期比	期初計画進捗率	
	2025年3月期	2026年3月期		対 上半期	対 年間
売上高	23	25	+2	42%	19%
米州	11	13	+2	37%	17%
欧州	11	11	0	44%	20%
営業利益	0	0	0		
のれん償却後	-7	-3	+4		

米州

新規顧客との契約及び既存顧客との契約更新は順調に進捗
SaaS契約を中心に堅調な販売実績

欧州

ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

18

「アクレック社、フルイド社の業績」

(アクレック社)

・売上高 70億円（前年同期比－3億円）

米州：米国でドライブスルーソリューション等、大手ファストフードチェーン向けの大口商談は活発化していたが、関税影響による投資抑制などの影響を受け販売は減少

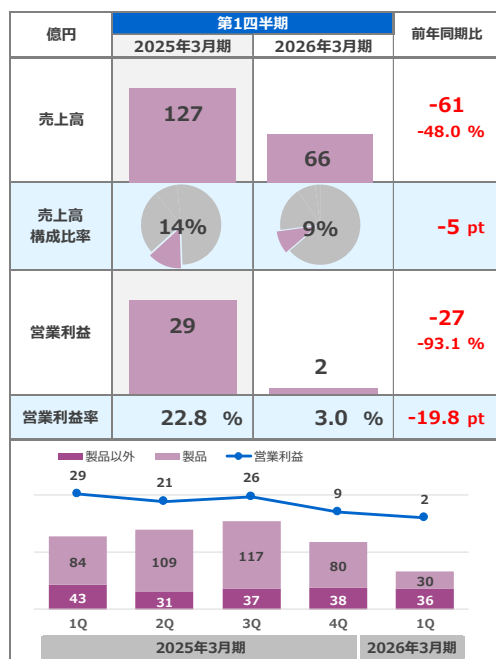
欧州：フランスでの販売が順調に推移

アジア：日本でのセルフサービスキオスクの販売が落ち着き、減少

(フルイド社)

・売上高 25億円（前年同期比＋2億円）

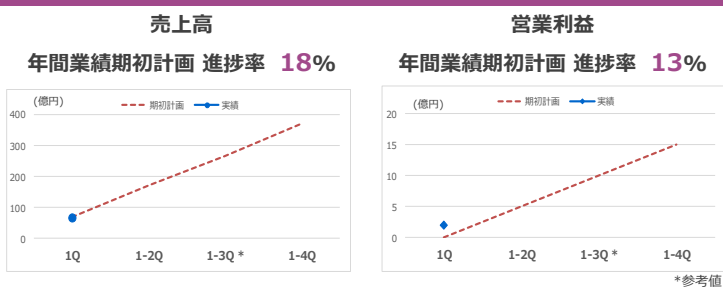
欧米で新規顧客との契約及び既存顧客との契約更新は順調に進捗し、販売はSaaS契約を中心に堅調に推移



業績のポイント

売上高	実績	前期の大口受注の反動により販売は減少
	要因	前期大口受注により増加した主要製品の販売が減少
	対策	セルフ化ソリューション、周辺機器の販売拡大
営業利益	実績	大口受注の反動による売上高減少の影響を受け減益
	要因	主要製品更新・保守売上高の減少
	対策	セルフ化ソリューションの販売拡大

計画に対する進捗



ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

19

「金融市場」

・売上高 66億円（前年同期比 - 61億円）

・営業利益 2億円（前年同期比 - 27億円）

（売上高）

郵政・JA向けの大型案件が寄与した前年同期と比べ「オープン出納システム」の売上はマイナス41.1%、「窓口用紙幣硬貨入出金機」は前年同期比 マイナス5.7%となり、保守売上高も減少

（営業利益）

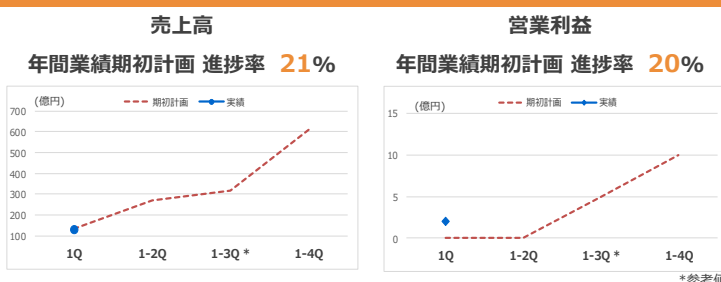
主要製品の販売が減少したことにより、大幅な減益

億円	第1四半期		前年同期比
	2025年3月期	2026年3月期	
売上高	239	128	-111 -46.4 %
売上高 構成比率	26%	18%	-8 pt
営業利益	66	2	-64 -97.0 %
営業利益率	27.6 %	1.6 %	-26.0 pt

業績のポイント

売上高	実績	新紙幣関連需要の終息により減収
	要因	新紙幣関連の更新・改造需要の反動減
	対策	人手不足に対応したセルフ化ソリューションの販売拡大
営業利益	実績	新紙幣関連売上高の減少により減益
	要因	新紙幣関連売上高、及び主要製品売上高の減少
	対策	セルフ化ニーズに対応した主要製品・ソリューションの販売拡大

計画に対する進捗



ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

20

「流通・交通市場」

・売上高 128億円（前年同期比 - 111億円）

・営業利益 2億円（前年同期比 - 64億円）

（売上高）

人手不足によるセルフ化ニーズは継続しているが、新紙幣対応に伴う需要の終息により主要製品の「レジつり銭機」の売上は前年同期比マイナス37.0%と減少

また、「券売機」の売上は前年同期比マイナス56.4%、警備輸送会社向け「売上金入金機」の売上は前年同期比マイナス69.5%と低調

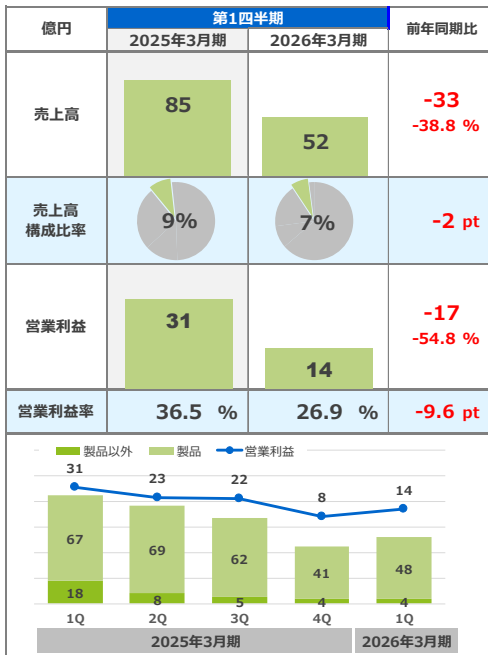
（営業利益）

製品売上の減少等により減益

遊技市場

<日本会計基準>

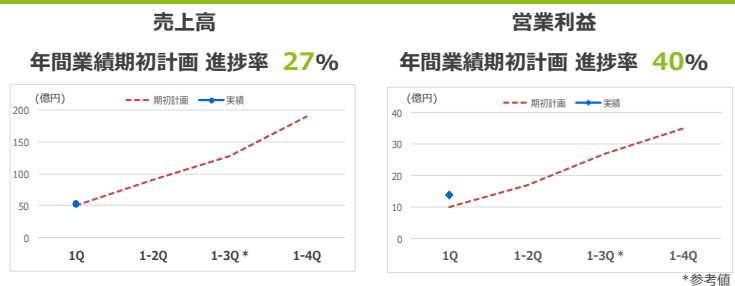
GLORY



業績のポイント

売上高	実績	新紙幣関連需要終息等の影響を受け販売は減少
	要因	新紙幣関連売上高の減少、及びカードシステムの販売減少
	対策	スマートパチンコの新基準に関する需要を注視
営業利益	実績	主要製品・保守売上高の減少により減益
	要因	新紙幣発行に伴う改造売上高、及びカードシステムの売上高減少
	対策	スマート遊技機関連製品の利益率の維持向上を図る

計画に対する進捗



ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

21

「遊技市場」

・売上高 52億円（前年同期比 - 33億円）

・営業利益 14億円（前年同期比 - 17億円）

（売上高）

主要製品である「カードシステム」は、スマートパチンコ関連の販売は増加したものの、スマートパチスロ関連の販売減速の影響を受け前年同期比マイナス22.1%。

また、新紙幣対応に伴う需要の終息により、周辺機器である「両替機」の販売や、保守売上高は減少

（営業利益）

主要製品、および保守売上高の減少により減益

2026年3月期 中間期・通期

3

連結業績予想

執行役員 経営戦略本部長 田中 千也

「2026年3月期 連結業績の予想」

説明者：経営戦略本部長 田中 千也

2026年3月期 事業環境の想定

GLORY

海外市場	米州	大手リテーラーの設備投資意欲が高く需要は堅調に推移 飲食市場において、アメリカの通商政策の影響があるも、通期予想への影響は軽微
	欧州	大手リテーラーで製品の更新需要が継続
	アジア	省人化ニーズあるも、先行きの不透明感により、設備投資意欲はやや低調
金融市場		プラス金利を背景に、設備投資意欲は旺盛 少人数店舗運営をサポートする新製品・新サービスへの需要の高まり
流通・交通市場		小売・飲食店での人手不足が顕著で、セルフ型製品への需要は堅調に推移
遊技市場		スマートスロット関連製品への需要は一巡したものの、スマートパチンコについては、令和7年7月7日に導入された新認可基準「LT3.0プラス」による需要動向を注視

ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

23

「当社を取り巻く事業環境」

（海外市場）

大手リテーラーの設備投資意欲が高く需要は堅調に推移すると見込む。また、米国の通商政策の影響は軽微と見込む

（国内市場）

金融市場では、プラス金利を背景に金融機関の投資意欲は旺盛。少人数店舗運営をサポートする製品・サービスに対する需要は根強いものと見込む

流通・交通市場では、小売店・飲食店での人手不足に対応するためのセルフ化対応製品・サービスへの需要は堅調に推移すると見込む。

遊技市場では、スマートスロット向けの需要は一巡したものの、スマートパチンコについては、7月より新たな認可基準が施行されていることから、新台の販売動向を注視

2026年3月期 中間期 業績予想

<日本会計基準>

GLORY

業績予想の修正あり

売上高

海外事業は米国の通商政策などの影響、また、国内事業は新紙幣発行対応(特別需要)等の反動により販売の減少を予想

利益

海外事業の利益改善は続くが、国内事業の新紙幣発行対応(特別需要)等の反動による売上高減少により営業減益を予想

億円	中間期					前年同期比 (C) - (A)	前回予想比 (C) - (B)
	2025年3月期 (A)	売上高 比率	2026年3月期		売上高 比率		
			5月13日予想(B)	8月7日予想(C)			
売上高	1,850	100.0%	1,560	1,500	100.0%	-350	-60
保守売上高	685	37.0%	615	615	41.0%	-70	0
営業利益	191	10.3%	58	53	3.5%	-138	-5
経常利益	143	7.7%	48	43	2.9%	-100	-5
親会社株主に帰属する 当期純利益	73	3.9%	16	13	0.9%	-60	-3
※ EBITDA	309	16.7%	176	171	11.4%	-138	-5

為替 レート	ドル	153 円	145 円
	ユーロ	166 円	160 円

為替 レート	ドル	153 円	145 円
	ユーロ	166 円	160 円

※EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費

ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

24

「2026年3月期 中間期業績予想」

第1四半期の海外市場での顧客の投資先延ばし、及び新紙幣発行に伴う需要の反動の影響などを踏まえ下方修正

- ・**売上高**は、1,560億円から**1,500億円**に下方修正（期初予想比－60億円）
- ・**営業利益**は、58億円から**53億円**に下方修正（期初予想比－5億円）
- ・**経常利益**は、48億円から**43億円**に下方修正（期初予想比－5億円）
- ・**親会社株主に帰属する当期純利益**は、16億円から**13億円**に下方修正（期初予想比－3億円）

2026年3月期 中間期 業績予想 セグメント別売上高・営業利益 <日本会計基準>

GLORY

業績予想の修正あり

億円		中間期					前年同期比 (C) - (A)	前回予想比 (C) - (B)
		2025年3月期 (A)	売上高構成比率	2026年3月期		売上高構成比率		
			営業利益率	5月13日予想(B)	8月7日予想(C)	営業利益率		
海外市場	売上高	968	52.3%	1,000	950	63.3%	-18	-50
	営業利益	1	0.1%	40	20	2.1%	+19	-20
金融市場	売上高	269	14.5%	170	155	10.3%	-114	-15
	営業利益	51	19.0%	5	7	4.5%	-44	+2
流通・交通 市場	売上高	416	22.5%	270	260	17.3%	-156	-10
	営業利益	87	20.9%	0	5	1.9%	-82	+5
遊技市場	売上高	163	8.8%	90	105	7.0%	-58	+15
	営業利益	54	33.1%	17	25	23.8%	-29	+8
その他	売上高	33	1.8%	30	30	2.0%	-3	0
	営業利益	-2	-	-4	-4	-	-2	0
合 計	売上高	1,850	100.0%	1,560	1,500	100.0%	-350	-60
	営業利益	191	10.3%	58	53	3.5%	-138	-5

ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

25

「セグメント別業績予想」

（海外市場）米国での通商政策の影響等を反映

- ・売上高は期初予想 1, 0 0 0 億円から **9 5 0 億円**に下方修正
- ・営業利益は期初予想 4 0 億円から **2 0 億円**に下方修正

（金融市場）

- ・売上高は主要製品の販売減少を見込み期初予想の 1 7 0 億円から **1 5 5 億円**に下方修正
- ・営業利益は費用面の減少を見込み期初予想の 5 億円から **7 億円**に上方修正

（流通・交通市場）

- ・売上高は主要製品の販売減少を見込み期初予想の 2 7 0 億円から **2 6 0 億円**に下方修正
- ・営業利益は費用面の減少を見込み期初予想の 0 億円から **5 億円**に上方修正

（遊技市場）スマート遊技機向けカードユニットの販売が期初予想を上回る

- ・売上高は期初予想の 9 0 億円から **1 0 5 億円**に上方修正
- ・営業利益は売上高の増加に伴い期初予想の 1 7 億円から **2 5 億円**に上方修正

2026年3月期 中間期 業績予想 海外地域別売上高

<日本会計基準>

GLORY

業績予想の修正あり

億円	中間期			前年同期比 (C)-(A)		米ドル ベース
	2025年3月期 (A)	2026年3月期 5月13日予想(B)	8月7日予想(C)			
米州	444	470	440	-4	-0.9%	+4.1%
内 GGS	395	400	382	-13	-3.3%	+1.9%
内 Acrelec	22	35	23	+1	+4.5%	+5.9%
内 Flooid	27	35	35	+8	+29.6%	+34.9%
欧州	434	450	435	+1	+0.2%	+5.3%
内 GGS	224	215	200	-24	-10.7%	-5.8%
内 Sitrade	77	90	90	+13	+16.9%	+22.8%
内 Acrelec	111	120	120	+9	+8.1%	+13.5%
内 Flooid	22	25	25	+3	+13.6%	+14.5%
アジア	88	80	75	-13	-14.8%	-11.3%
内 GGS	71	60	63	-8	-11.3%	-7.6%
内 Acrelec	17	20	12	-5	-29.4%	-26.5%
合 計	968	1,000	950	-18	-1.9%	+3.2%
内 GGS	690	675	645	-45	-6.5%	-1.6%
内 Sitrade	77	90	90	+13	+16.9%	+22.8%
内 Acrelec	151	175	155	+4	+2.6%	+7.8%
内 Flooid	50	60	60	+10	+20.0%	+25.6%

前回予想比 (C)-(B)
-30
-18
-12
0
-15
-15
0
0
-5
+3
-8
-50
-30
0
-20
0

acorelec
a GLORY company

億円	中間期		前年同期比
	2025年3月期	2026年3月期予想	
売上高	151	155	+4
米州	22	23	+1
欧州	111	120	+9
アジア	17	12	-5
営業利益	4	1	-3
のれん償却後	0	-2	-2

flooid
a GLORY company

億円	中間期		前年同期比
	2025年3月期	2026年3月期予想	
売上高	50	60	+10
米州	27	35	+8
欧州	22	25	+3
営業利益	7	5	-2
のれん償却後	-4	-1	+3

ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

26

「海外の地域別売上高」

欧米は米国での通商政策の影響等を反映

- ・米州は期初予想の470億円から**440億円**に下方修正
- ・欧州は期初予想の450億円から**435億円**に下方修正
- ・アジアはアクレレックの販売動向等を反映し期初予想の80億円から**75億円**に下方修正

(アクレレック社)

第1四半期に顧客の投資先延ばしの影響を反映

期初予想の175億円から**155億円**に下方修正

(フルイド社)

計画通りの進捗を予想

2026年3月期 通期 業績予想

<日本会計基準>

GLORY

業績予想の修正なし

売上高

欧米でリテール・飲食市場向けの販売が増加するが、国内事業は新紙幣発行対応(特別需要)等の反動により販売減少を予想

利益

海外事業の利益回復は下期から本格化。国内事業の新紙幣発行対応(特別需要)等の反動による売上高減少により営業減益を予想

億円	通 期				前期比	IFRS (億円)	2026年3月期 予想
	2025年3月期	売上高 比率	2026年3月期予想	売上高 比率			
売上高	3,690	100.0%	3,400	100.0%	-290 -7.9%	売上収益	3,400
保守売上高	1,326	35.9%	1,240	36.5%	-86 -6.5%		
営業利益	351	9.5%	215	6.3%	-136 -38.7%	営業利益	285
経常利益	284	7.7%	195	5.7%	-89 -31.3%	親会社の所有者に帰属する 当期利益	170
親会社株主に帰属する 当期純利益	160	4.3%	100	2.9%	-60 -37.5%		
EBITDA ※	592	16.0%	453	13.3%	-139 -23.5%	基本的1株当たり 当期利益	306.43円
為替 レート	ドル	153 円	145 円				
	ユーロ	164 円	160 円				

※EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費

ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

27

「2026年3月期 通期業績予想」

中間期の業績予想は下方修正したが、海外市場は下期に向けて回復を見込んでおり、通期業績予想は期初予想を変更せず

・売上高は **3,400億円** (前期比-290億円)

・営業利益は **215億円** (前期比-136億円)

・経常利益は **195億円** (前期比-89億円)

・親会社株主に帰属する当期純利益は **100億円** (前期比-60億円)

2026年3月期 通期 業績予想 セグメント別売上高・営業利益

<日本会計基準>

GLORY

業績予想の修正あり

億円		通 期					前期比 (C) - (A)	前回予想比 (C) - (B)	IFRS 2026年3月期 予想
		2025年3月期 (A)	売上高構成比率	2026年3月期		売上高構成比率			
			営業利益率	5月13日予想(B)	8月7日予想(C)	営業利益率			
海外市場	売上高	2,100	56.9%	2,160	2,160	63.5%	+60	0	2,160
	営業利益	84	4.0%	160	150	6.9%	+66	-10	※ 230
金融市場	売上高	544	14.7%	370	370	10.9%	-174	0	370
	営業利益	86	15.8%	15	15	4.1%	-71	0	10
流通・交通 市場	売上高	697	18.9%	610	610	17.9%	-87	0	610
	営業利益	98	14.1%	10	10	1.6%	-88	0	7
遊技市場	売上高	277	7.5%	190	190	5.6%	-87	0	190
	営業利益	85	30.7%	35	45	23.7%	-40	+10	※ 43
その他	売上高	70	1.9%	70	70	2.1%	0	0	70
	営業利益	-2	-	-5	-5	-	-3	0	-5
合 計	売上高	3,690	100.0%	3,400	3,400	100.0%	-290	0	3,400
	営業利益	351	9.5%	215	215	6.3%	-136	0	285

※日本会計基準の修正を反映

海外市場	リテール、飲食の各市場での大型案件の獲得などにより増収増益を見込む
金融市場	主要製品の更新需要は一巡し減収減益を見込むも、非現金分野や周辺機器の受注により高水準を維持
流通・交通市場	新紙幣発行に伴う製品・サービスの反動減により減収減益を見込む
遊技市場	スマート遊技機向けカードシステムの販売はスマートパチンコ向けに移行し、一時的な需要減少を見込む

ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

28

「セグメント別業績予想」

営業利益の内訳を一部変更

(海外市場)

- ・売上高 **2,160億円** (前期比+60億円)
- ・営業利益 **150億円**から**150億円に下方修正** (前期比+66億円)

(金融市場)

- ・売上高 **370億円** (前期比-174億円)
- ・営業利益 **15億円** (前期比-71億円)

(流通・交通市場)

- ・売上高 **610億円** (前期比-87億円)
- ・営業利益 **10億円** (前期比-88億円)

(遊技市場)

- ・売上高 **190億円** (前期比-87億円)
- ・営業利益 **45億円**から**45億円に上方修正** (前期比-40億円)

2026年3月期 通期 業績予想 海外地域別売上高

<日本会計基準>

GLORY

業績予想の修正なし

億円	通 期		前期比		
	2025年3月期	2026年3月期予想			米ドルベース
米州	1,008	1,060	+52	+5.2%	+10.6%
内 GGS	875	915	+40	+4.6%	+10.1%
内 Acrelec	63	70	+7	+11.1%	+16.5%
内 Floodid	70	75	+5	+7.1%	+11.8%
欧州	900	930	+30	+3.3%	+8.7%
内 GGS	451	455	+4	+0.9%	+5.9%
内 Sitrade	166	170	+4	+2.4%	+7.7%
内 Acrelec	231	250	+19	+8.2%	+13.6%
内 Floodid	50	55	+5	+10.0%	+14.4%
アジア	191	170	-21	-11.0%	-6.6%
内 GGS	154	130	-24	-15.6%	-11.3%
内 Acrelec	37	40	+3	+8.1%	+12.7%
合 計	2,100	2,160	+60	+2.9%	+8.2%
内 GGS	1,481	1,500	+19	+1.3%	+6.6%
内 Sitrade	166	170	+4	+2.4%	+7.7%
内 Acrelec	332	360	+28	+8.4%	+14.1%
内 Floodid	121	130	+9	+7.4%	+12.9%

acorelec
a GLORY company

億円	通 期		前期比	
	2025年3月期	2026年3月期予想		
売上高	332	360	+28	
米州	63	70	+7	19%
欧州	231	250	+19	69%
アジア	37	40	+3	11%
営業利益	15	25	+10	
のれん償却後	7	17	+10	

floodid
a GLORY company

億円	通 期		前期比	
	2025年3月期	2026年3月期予想		
売上高	121	130	+9	
米州	70	75	+5	58%
欧州	50	55	+5	41%
営業利益	27	19	-8	
のれん償却後	14	6	-8	

ダイジェスト

2026年3月期 Q1 連結業績

2026年3月期 業績予想

29

「海外の地域別売上高予想」

欧米におけるリテール市場の販売拡大を見込むが、アジアは金融市場の販売が厳しいことを見込む

- ・**米州 1,060億円**（前期比+52億円）
- ・**欧州 930億円**（前期比+30億円）
- ・**アジア 170億円**（前期比-21億円）

（アクレレック社）

欧州で大口案件の獲得を見込む

- ・**売上高 360億円**（前期比+28億円）

（フルイド社）

- ・**売上高 130億円**（前期比+9億円）

米州75億円、欧州55億円

以上で、説明を終わらせていただきます

<注意事項>

1. 本資料に記載されている、業績見通し等の将来に関する情報は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。
また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。
2. 当資料の増減率、構成比は、千万円以下を切り捨てた数値を基に算出しており、決算短信の増減率とは異なる場合があります。